



NO.544

宅配買い取りサービスにご注意！

不用品を宅配便で業者に送り、査定・買い取りをしてもらう「宅配買い取りサービス」を利用する人が増えています。

相談① ネットで「何でも買い取ります」という着物買い取りサイトを見つけた。着物10枚を宅配便で送ると、「査定額0円」とメールが届いた。納得できないので着物を返却してほしいという、返送料が2000円かかるといわれた。

宅配買い取りサービスは宅配業者が家に品物を引き取りに来てくれます。送料は業者が負担することが多く、手軽で便利ですが、「査定額が低すぎる」「品物を紛失された」など、トラブルも多く寄せられています。

事例の場合、業者に確認すると、「着物だけでなく小物類など、何でも査定をするという意味で、全てを買い取るということではない」と主張しました。買い取りの基準や価格は業者によって違います。査定額に納得できないときは、品物を返却してくれるサイトがほとんどですが、返送料が消費者負担になっているケースも少なくありません。規約をよく確認しましょう。

消費生活センター(ステーションビル3階) ☎7533・5555

相談② スマホで本の背表紙を写真に撮るだけで、サイト上で簡単に査定額が分かるというサイトを見つけた。古本30冊で試してみると、2500円と出た。宅配便で送ると「査定額200円」とメールが来た。

事例の場合、書籍の買い取り対象は、ISBNコード(書籍を特定する国際番号)が記載されているものとなっていましたが、サイト上で査定額が出て、記載のない本は買い取ってもらえませんでした。同コードは1981年以降に書籍に付けられるようになったもので、相談者の場合、それ以前のものが多かったようです。査定額に納得できないときは、業者が送料を負担して返却すると、規約に書かれていました。サイトの広告で高額な買い取り価格が表示されていても、実際の査定額になるとは限りません。買い取りやキャンセルなどの条件をしっかり確認しましょう。品物を送る際には写真を撮り、リストを作って記録を残しておきましょう。

健康相談

Q & A

池田市医師会
http://www.ikeda-osaka-med.jp/

Q 今年インフルエンザ予防接種を受けた方がよいでしょうか。

A 2020年に新型コロナウイルス感染症が世界中に波及し、その後、特に冬のツインデミック(新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行)が懸念されていましたが、2020-21年、2021-22年の2シーズンともにインフルエンザの大規模流行は起こりませんでした。

徹底した感染症対策、行動自粛などが一因と推定されますが、さらにウイルス同士の干渉(あるウイルスに感染すると他のウイルスに感染しにくい)という説もあります。

2シーズンにわたりインフルエンザが流行しなかったということはインフルエンザに対する抗体保有率の低下(感受性が増大しインフルエンザに罹患しやすく



なっている)が推定され、さらに北半球の流行を予測する南半球のオーストラリアでは2022年4月よりインフルエンザの流行が報告されています。

海外への渡航制限が今後どのように緩和されていくのかが不明なため国内にそのままではめることはできませんが、参考にはなると思います。

以上より、日本ワクチン学会は今シーズンのインフルエンザ予防接種を強く推奨しています。任意接種ですので接種する・しないは各自の判断によりますが、発熱疾患から身を守り、年末年始の医療逼迫を避けるためにも、特に65歳以上の高齢者や基礎疾患をお持ちの方は最新の情報を参考にして検討されてはいかがでしょうか。

池田市医師会